

川の流れはどんぶらこ、海の波はざぶんざぶん

～川と海がつなぐ物語～

【参加者10名】

令和7年6月3日（火）～ 4日（水）

活動場所：広島市

〈ミッション〉太田川と瀬戸内海をつなぐ物語とは何か調査せよ！！

6つの川に分かれて調査！

【1日目】

- ①川沿いを歩き、大芝水門に14:00までに辿り着け！
- ②発見したすべての橋について「橋の名称」、「橋の竣工年」を調査せよ！

●橋ができた時代

- 安土桃山、江戸
- 明治、大正、昭和
- 平成、令和

太田川放水路の歴史が書かれた看板も撮影しておこう！

橋の名前を忘れないようにメモしておこう！

集合場所：県庁

担当する川の河口まではバスに乗って移動

大芝水門で、一緒に記念撮影！
6つの川はここに繋がってたんだ！

原爆ドームに行けば、仲間に会えるかもしれない！

猿猴川に架かる猿猴橋！
川の名前と橋の名前が一緒だ！

国道2号線（新〇〇橋という橋が多い）

主要な道路と川が交わる
ところには橋が架かっている！大発見だ！

広島高速3号線（〇〇大橋という橋が多い）

過去

【2日目】

- ①調査した内容を地図に記入し、気付きを交流せよ！
- ②今後の広島市がどのように変化していくか交流せよ！

埋立てや橋という方法で東西の交通路は発展してきたんだ！

全て埋め立てたら、橋を架ける必要もないのでは？

現在

船が通ったけど、南北を流れる川と海は必要な気がする！

【昼食ミッション】
箸を使って、相生橋が見える場所で昼食をとれ！

川と海を上手く活用すればよいのでは？

未来

川と海と人々が共存しながら暮らせる街をつくりたいね！

昔の人も同じ考え方だったんだ！

【参加者の声】

- ◆ 一つの川や橋から、いろいろな歴史や物語があるということが分かった。
- ◆ 川から海へ私たちの生活の大切なものが生み出されていると感じた。

広島市は埋立てをしながら、川を流通に活用することで発展してきた側面もあります。今回の調査で「河口」の位置は時代によって変化してきたことが分かりますね。では、どこまでが川の水で、どこからが海水といえるのだろう。時代によっても変わるのかな？